

2 中部第一ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

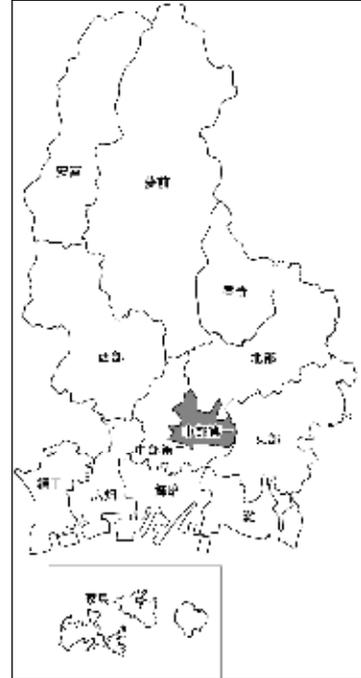
中部第一ブロックは、白鷺・野里・城東・東・船場・城西・城乾校区からなる地域です。

本市の中心に位置する中部ブロックのうち、世界文化遺産姫路城の旧城下町を中心とする地域であり、明治22年市制施行当初の市域におおむね該当します。

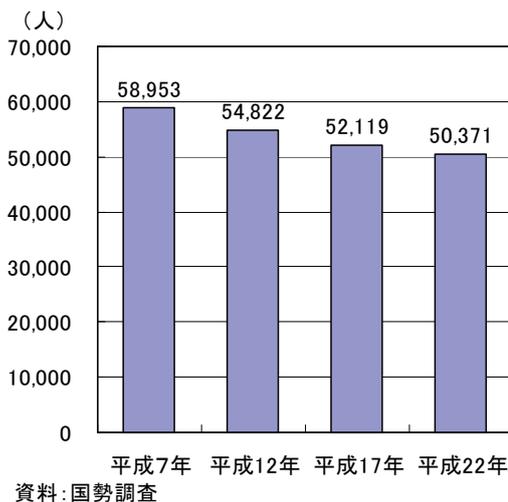
旧城下町を中心に古くから商業地が発展し、社寺等の歴史文化の香りを残した商業地として、また、播磨地域の中心商業地として育ってきました。

本地域における当面の課題として、世界文化遺産姫路城の保全と継承、鉄道高架事業により発生する広大な貨物ヤード跡地等を活用したにぎわいの創出、JR姫路駅を中心とする南北市街地の一体化の促進、居住人口の回復等があげられます。

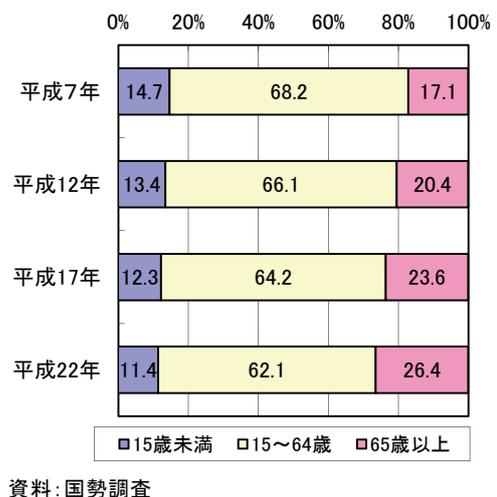
現在、JR姫路駅周辺地区では、都心部まちづくりの指針である「姫路市都心部まちづくり構想」に基づき、姫路駅周辺土地区画整理事業や関連道路事業、施設整備を総合的に行うキャストイ 21を進めています。



■ 人口の推移



■ 年齢3区分別人口の推移



② 地域づくりのテーマ

歴史を育み、賑わいと感動あふれる中心商業都市

③ 地域づくりの目標

◇ **世界文化遺産姫路城など歴史的資源を生かした国際観光都市づくり**

世界文化遺産姫路城の保全と継承に力を注ぐとともに、都心部に集積する歴史的・文化的資源の活用による都心の魅力を高め、国際観光都市の構築を目指します。

◇ **感動と楽しさあふれる回遊性の高い都心づくり**

高度な商業集積や多彩なイベントの展開を図るとともに、地域の特性を生かしつつ回遊性の高い都心の形成を目指します。

◇ **播磨の中核都市として魅力と活力ある都心づくり**

文化、教育、交流、情報サービスなど高次都市機能の集積と基盤整備を進め、あわせて都心居住を促進し、播磨の中核都市にふさわしい魅力と活力ある都心の形成を目指します。



キャスルガーデン



JR姫路駅北駅前広場から見た大手前通り

（２）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 主核（商業核）

- ・主核は、本市の交流や流通、ビジネスの拠点のみならず、播磨地域の社会、経済活動の核となるもので、内環状道路（国道2号線、国道線、内環状東線、船場川線）に囲まれた区域を位置付けます。
- ・本地域にあたる駅北地区は、主に商業核としての性格を持つ拠点として位置付け、既存の商業・業務機能に加え、多彩なイベントの開催等により、楽しく賑わいのある都心の形成を図ります。また、城下町姫路のイメージの再現や世界文化遺産姫路城へのプロムナードとしての役割を強化し、都心回遊の拡大を図ります。
- ・鉄道高架事業や土地区画整理事業、関連道路整備事業等とあわせて、キャスティ21の推進により商業、情報通信、文化、交通交流等の高次都市機能を集積し、21世紀の播磨の発展の核としてふさわしい魅力と活力ある都心の形成を図ります。

イ 歴史文化ゾーン

- ・世界文化遺産姫路城とその周辺地区を位置付けます。
- ・世界文化遺産姫路城の保全と継承に力を注ぐとともに、城と調和した景観の形成を図ります。また、世界文化遺産姫路城の周辺地区では、文化シンボルゾーンとして既存文化施設等の充実と活用を図り、より魅力的で親しめる空間の整備を推進します。

ウ 都心回遊軸

- ・JR姫路駅を起点として、北は大手前通り周辺から世界文化遺産姫路城の周辺に伸びる動線、南は駅南大路周辺から市役所周辺へ伸びる動線、東西へは環状道路の整備等による回遊動線を都心回遊軸として位置付けます。JR姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を促進し、主核の中心性の充実を図るため、人々の動きを誘導する賑わいのある回遊空間の形成を図ります。
- ・都心回遊を支援するバスルートの充実や自転車利用の促進を図ります。

エ 歴史街道軸

- ・西国街道、銀の馬車道、野里街道等の古道を歴史街道軸として位置付け、街道沿いの歴史的町並みを保全するとともに、世界文化遺産姫路城をはじめ、地域に散在する歴史文化遺産を散策、回遊できる歴史・文化ネットワークの形成を図ります。

② 土地利用

ア 商業系

- ・JR姫路駅周辺の内環状道路に囲まれた区域を拠点商業業務地とし、その周辺に商業業務地を位置付けます。都心部にふさわしい商業、文化、交流、コンベンション等の高次都市機能の集積を図るとともに、魅力ある個店づくりや特色ある商業・業務街区の形成を進め、地域住民や来街者の回遊の拡大を促進します。特に、キャッスルガー

デンを含めた J R 姫路駅北駅前広場の整備に引き続き、キャストィ21に基づきコアゾーンやイベントゾーンの整備を推進します。

- ・世界文化遺産姫路城から J R 野里駅に至る城東線や野里街道沿道は、歩行者を中心とした沿道型の商業業務地として位置付けます。

（街なか居住の促進）

- ・街なか居住による居住者の増加を図るため、居住環境や利便性の向上等を図るとともに、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業により、老朽化した建築物等の円滑な建替え、改修の促進を検討し、良好な住宅等の供給を図ります。

イ 工業系

- ・城東町、東郷町、千代田町等の既存の内陸工業地では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。

ウ 住宅系

- ・国道線（国道2号）と J R 山陽新幹線に挟まれた複合住宅地では、軽工業あるいは商業施設等との調和のとれた住宅地の形成を図ります。
- ・専用住宅地及び一般住宅地では、世界文化遺産姫路城への眺望や周辺の独立丘陵との調和に配慮しながら、中低層住宅地として良好な住環境の形成を図ります。

エ 保全系

- ・世界文化遺産姫路城がある姫山や八丈岩山等の市街地に近接する独立丘陵は、良好な都市環境や都市景観の形成はもとより、歴史的にも重要な緑として保全を図ります。

③ 都市施設

ア 交通施設

ア) 公共交通

- ・姫路駅周辺においては、バスや自家用自動車等との交通結節機能を強化するため、J R 姫路駅南駅前広場の整備を推進するとともに、安全な歩行者動線の確保と通過交通の抑制を図ります。
- ・J R 山陽本線の御着駅～姫路駅間において新駅の設置を促進し、鉄道へのアクセス性の向上を図ります。また、新駅の設置にあわせて、駅前広場やアクセス道路の整備を推進します。
- ・都心循環バスの導入検討を進めるとともに、案内誘導や情報提供の充実を図ることにより、都心回遊を支援します。
- ・書写付近～姫路駅間の路線バスについては、バス優先レーンの設置や公共車両優先システムの導入等により定時性、速達性を高めます。

イ) 道路

- ・内環状道路、中環状道路（国道2号線、城北線、大日線、中央南北幹線）等を骨格と

した幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路については、廃止を含めた見直しを行います。

- ・ J R 姫路駅を中心とする南北交通の円滑化と南北市街地の一体化を図るため、中環状道路、内環状道路、内々環状道路の整備を推進します。
- ・ J R 姫路駅から世界文化遺産姫路城への魅力ある眺望を確保し、城と調和した風格あるまちなみを形成するため、大手前通りの再整備を図ります。
- ・ 姫路駅やその周辺地区において、あらゆる訪問者に対する総合的なバリアフリー化を推進します。

ウ) 駐車場

- ・ 本市が目指す公共交通中心の交通体系への転換、さらに J R 姫路駅周辺地区のまちづくりの進捗等を踏まえ、駐車場整備計画や都市計画駐車場など都心部における駐車対策の見直しに取り組みます。

エ) 自転車利用環境

- ・ 環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、大手前通りや環状道路等の広幅員道路において、自転車歩行者道への自転車通行位置の明示等を行い、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間の確保を図ります。

イ 公園・緑地

- ・ 世界文化遺産姫路城及びその周辺の区域では、「特別史跡姫路城跡整備基本計画」に基づき、緑の保全管理を進めるとともに、姫路公園にふさわしい施設整備の検討を進めます。
- ・ 将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。

ウ 下水道・河川

- ・ 老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図るとともに、姫路駅周辺地区や姫路駅南西地区の土地区画整理地内では、事業の進展にあわせて未整備区域の解消を図ります。
- ・ 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大と集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、管きよの流下能力の向上、雨水排水施設の整備など浸水対策を進めます。
- ・ 世界文化遺産姫路城の外堀であった外堀川については、外濠公園北側及び西側の環境整備に引き続き、国道線以北において城と調和した歴史を感じさせる親水空間の創出等を検討します。
- ・ 市街地内の河川については、地域住民との協働による美化浄化活動を促進します。

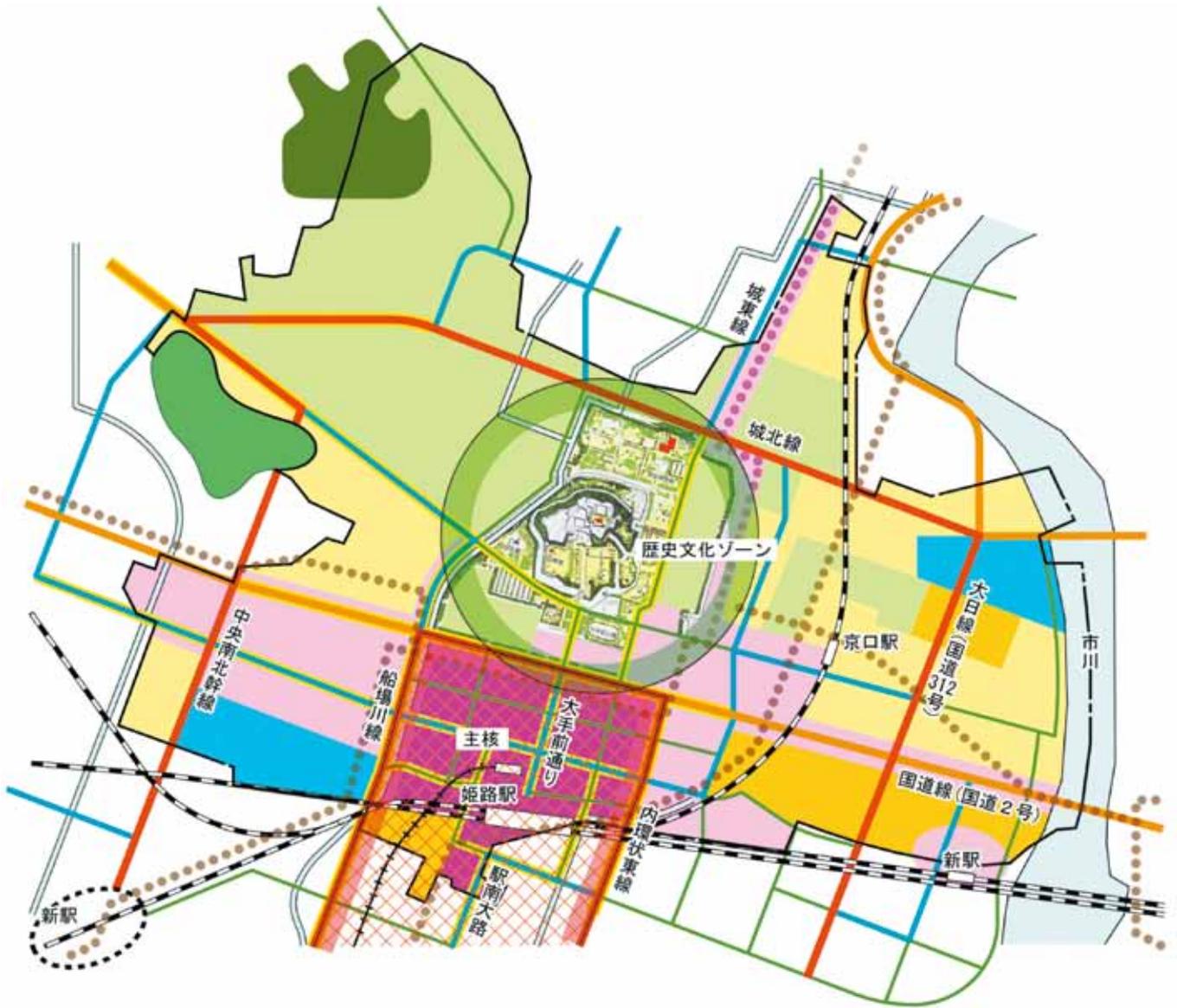
④ 防災

- ・ 地域防災拠点として中央支所、姫路公園を配置するとともに、各小学校をコミュニテ

- ィ防災拠点として配置します。
- ・JR姫路駅においては、災害時の帰宅困難者に対応するため、交通事業者との緊密な連携を図るとともに、帰宅困難者等の対応が可能な施設の確保を図ります。
 - ・市街地における面的な不燃化、難燃化を促進するため、防火地域・準防火地域制度の活用を図ります。
 - ・姫路城南地区、本町白鷺町周辺、野里街道周辺及び柿山伏・龍野町・西新町周辺においては、老朽化した木造家屋が密集し、地震発生時の建物倒壊や延焼危険度が高いため、都市計画道路の整備や生活道路の拡幅とともに、地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。

⑤ 景観

- ・世界文化遺産姫路城は、姫路らしい景観を形成する上で極めて重要な役割を担っているため、世界文化遺産姫路城とそれを囲む史跡を復元、修復するとともに、城を核とした水と緑のうるおいある美しい景観の形成を図ります。
- ・世界文化遺産姫路城を中心とする姫路城周辺地区において、歴史的建築物の保全と活用を図るとともに、姫路城と調和した風格ある景観形成と姫路城に配慮した眺望景観の保全を図ります。
- ・野里街道、西国街道沿いに残る歴史的な町並みの保全、継承を図るとともに、景観形成上重要な建造物については、まちづくりの中での活用を図ります。
- ・「歴史のみち」の整備を推進するとともに、大手前通りの再整備を図るなど城下町にふさわしい道路景観の創出を図ります。
- ・景福寺山や市川の豊かな自然景観を保全するとともに、住民参加による身近なまちづくりの取組を促進し、地区の特性に配慮した美しい街なみの創出等を図ります。



土地 利 用		凡 例		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	自転車レーン等整備路線

■ 中部第一ブロックの将来像